

日本TCS、ServiceNow CTA認定取得により、AIを活用した企業変革支援体制を強化

日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社（日本TCS）は、2026年4月、ServiceNow プラクティスのアシュトシュ・シン（Ashutosh Singh）と渡邊 大介が、ServiceNowの上位認定資格であるCertified Technical Architect（CTA）を取得したことをお知らせします。今回の認定取得により、日本TCSはServiceNowを活用した、お客さまのエンタープライズ・トランスフォーメーション支援におけるケイパビリティをさらに強化します。



ServiceNowは、エンタープライズソフトウェアの世界最大手の一社であり、すべてのワークフローにおいて、人、プロセス、システムを統合するAIプラットフォームを展開しています。CTAは、ServiceNow認定資格の中でも最難関とされ、認定取得には、ServiceNowプラットフォームに関する高度な知識に加え、複雑な業務要件をエンタープライズレベルのアーキテクチャとして設計し、実効性のあるソリューションとして提案する力が求められます。

シンは、「今後は、この認定を活かし、より戦略的な案件の推進や、ベストプラクティスの浸透に向けたチーム支援に取り組むとともに、お客さまに最大の価値を生み出す、将来を見据えた堅牢なソリューションの構築に貢献していきたい」また、渡邊は、「継続的な学習と実践を引き続き進めていき、よりお客さまの課題解決に貢献していきたい」と述べています。

日本TCSは、今回のCTA認定取得を機に、TCSのグローバルな知見とServiceNowの専門性を活かし、AIを活用したワークフロー変革を支援することで、お客さまの変革とビジネス価値の創出に貢献していきます。さらに、日本市場におけるServiceNowビジネスの拡大に向け、AIを起点としたイノベーション、Go-to-Market（GTM）戦略の強化、カスタマーサクセスの推進に取り組むとともに、ServiceNowエコシステム全体で次世代人材の育成を継続的に進めていきます。

以上

（関連ニュース）

2026年2月23日 TCSプレスリリース

[TCSとServiceNow、企業の大規模なAI導入の加速に向けてパートナーシップを締結](#)